

ベルポニュース

2021年(令和3年) 春夏号

特定非営利活動法人社会教育団体ベルポ会

福岡市博多区西月隈3丁目8-11
TEL:092-441-8059 FAX:092-452-5643
e-mail : bellpol@leo.bbiq.jp
URL : <http://www.bellpo.fukuoka.jp>

第9回日中韓児童友好絵画展 日本入賞作品が決定しました！

第9回日中韓児童友好絵画展には国内で2,100点余のご応募をいただき、厳正な審査の結果、高学年・低学年・幼児の部で金・銀・銅の計9点を含む合計100点の入賞作品が決定致しました。たくさんのご参加、誠に有難うございます。入賞作品は、インターネット上や各地絵画展で披露される予定です。

幼児の部

低学年の部

高学年の部



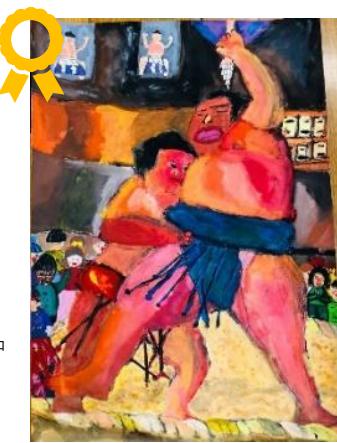
■金賞『ぎゅうしゃにうしをみにきたよ』年中



■銀賞『3びきのこぶた』年中



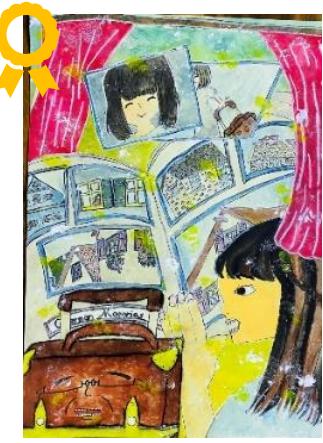
■銅賞『いろんないろのはっぱがきれいだな』年中



■金賞『本日の大一番』3年



■金賞『トランクの楽しかった思い出』5年



■銀賞『きょうりゅうのせなかですべり台』2年

■銅賞『ゆめにまぎれこんだ少年』3年

■銅賞『ヤマタのオロチと闘うスサノオ』6年

日本側
審査会
の様子



絵画展イベントスケジュール（予定）

インターネット美術館では、日中韓入賞作品各国100点合計300点が一ヶ月以上にわたり展示されます。糸島展は初開催です！

- 8月28日(土)10:30より上海オンライン開幕式開催、インターネット美術館公開
- 9/19-26 大牟田展 @大牟田市石炭産業科学館
- 10/2-10 東福岡展 @リーパスプラザこが(古賀市)
- 10/16-17 糸島展 @伊都郷土美術館
- 10/23-31 北九州展 @黒崎コムシティ
- 12/4-6 福岡展 @福岡市庁舎1階ロビー
- 11月以降 東京展(詳細計画中)

※新型コロナの状況により変更になる可能性もあります。



開幕式
QRコード



展覧会
QRコード
8/28以降ご覧になれます



中国側主催者の上海市人民对外友好协会主導で、上海美術家协会・上海市教育委员会・中国福利会少年宮の専門家により審査会がおこなわれました。



上海・釜山各地の準備も進んでいます！



韓国側主催者の財釜山国際交流財団(田美京交流協力チーム長(中央左))、協力団体の(社)釜山韓日文化交流協会とベルポ会がリモートで打合せをしました。

ICTを活用して、コロナ禍でも様々な活動を国内外で推進

新型コロナ拡大に伴い、日本では政府主導で急速なICT(ICT – 情報通信技術の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称)加速の波が社会の様々な分野に広がっています。それに伴いベルポ会でも、国際交流を通じての教育機関における実践の場づくり、国内の遠隔地間での交流に活用しています。

日中子ども年賀交流

今年も上海から児童による年賀カードや春聯が届き、ベルポ会事業にご協力頂いている各関係機関にお届けしました。福岡や東京のキッズボランティアは、リモートで北京の学生ボランティアから中国のお正月文化や春節について学び返事のカードを製作。上海へ送りました。



「北京や東京近いね」喜ぶ福岡のキッズボランティア。

毎年ご参加いただいだく、萩原絵画教室(佐賀市)生徒さんによる、上海への年賀カード



垂見保育園(柳川市)ではきれいに飾って頂きました。



介護施設(北九州市)にもお届けしました。

教育現場のICT化をお手伝い

コロナ禍で通常業務も大変な中、新たな分野に挑戦される教育現場のお手伝いもしています。ベルポ会学生ボランティア、北京第二外大院生で日本語を学ぶ朱天琪さんは、就職活動で忙しい中ご協力下さり「日中友好は市民との眞の交流にあることを肝に銘じ、何か力添えが出来れば嬉しく思います」との感想を頂きました。

文部科学省推進のGIGAスクール、島しょ部での試み。

五島列島の佐世保市立宇久小(全校生徒57名)高学年総合学習では、当会で北京と繋いで交流。この様子は長崎新聞でも紹介されました。様々な教育の格差をなくすことは、当会創始者鶴健市会長の願いでもあります。



参加した児童の感想(抜粋)

日本の文化と中国の文化の違いを感じることができた。外国人の人と関わることはほとんどないので、良い経験が出来てよかった。話してみて面白かった。中国の方が日本語が上手で驚いた。インターネットや教科書での調べ学習よりもわかりやすいし、その人の経験や気持ちが聞けるので良かった。中国の一年生が地理の学習をする事がびっくりした。宇久の良いところを知ってもらえて、中国の人人が宇久を調べてくれたことが嬉しかった。宇久島に観光客が増えるといいな。(宇久小児童)

絵画展協力団体の緑ヶ丘第二幼稚園(北九州市)の先生方は、幼稚園行事のリモート導入に向けて北京とのオンライン交流を体験されました。



中国国際交流協会や北京NGOオンラインセミナーでスピーチなど



今年に入り、オンラインセミナーでのプレゼン依頼も増えました。ボランティアの皆様のご協力を頂きながら、時には悪戦苦闘しつつ英語で、鶴理事長はベルポ会の日中友好活動や女性の自立について発信し、社会教育の在り方について国境を越えて共に考えます。

ベルポ会学生ボランティアを始めた4年前とは活動の形が大きく違う。それでも国境を超えて繋がり学ぶ活動の根本は変わらないことを感じさせられます。オンライン交流を経験した子どもたちが、これからどんな社会を創っていくのかが楽しみです。(ベルポ会スタッフ進藤)

肉入り月餅やビーフン作りで文化交流&食育(NPO法人国際食育交流促進協会共催)



福岡の本部と熊本や埼玉をオンラインで繋いで、アジアンクッキング体験と食育「もっと野菜が好きになる」の講習も行われました。講師は九州大学大学院医学研究院助教でNPO法人国際食育交流促進協会副理事長の王宇清先生。「ビーフンは7千年前から食べられている!」など驚きの中国文化も学びながら、子ども達が食を通して「食べることは生きること」自分の体作りを考えるきっかけになる活動を今後も続けて行きます。

親子で参加した方の感想(抜粋) 子どもは偏食がひどく、食べれる物が少ないと野菜嫌いです。今回作った肉入り月餅は野菜を細かく切って入れたので、パクパク何個も食べました。また、自分でパイ生地を伸ばしたり、料理に参加したこと楽しかったようで人一倍、食べ尽くしてありました。食育講座も作り方が参考になることばかりで、中国の料理に触れられ、みんなで楽しく参加出来て良かったです。また機会があれば参加したいと思います。(30代主婦)



“コロナ(COVID-19)禍”収束と籍日の協調を願う!
2021年新春賀詞交歓会

主催 在日本大韓国民団福岡地方本部 後援 在外同胞財団

在日本大韓国民団福岡地方本部の新春賀詞交歓会に参加。年頭のあいさつをされる李相鎬団長。

福岡市に公立夜間中学を設立する運動を続けられる先生方が手弁当で運営されて22年、自主夜間中学「よみかき教室」(福岡市博多区)へ、ベルポ会有志で寄付金を募り、コロナ対策で除菌シートをお届けしました。

